

古文文法 習熟度テスト①

名前

1 歴史的仮名遣い

(1) 「歴史的仮名遣い」とは何かを説明しなさい。(3点)

古文に使われている仮名遣い。平安時代中期の発音が基本になっている。

(2) 歴史的仮名遣いにおける次の五十音図を完成させなさい。(各1点×6)

ア行	あ	い	う	え	お
ヤ行	や	い	ゆ	え	よ
ワ行	わ	ゐ	う	ゑ	を

(3) 歴史的仮名遣いで書かれている次の各語の読み方を、現代仮名遣いで答えなさい。(各1点×15)

① かうい	② てうし	③ くわんぱく	④ けふ
⑤ にふだう	⑥ あはれ	⑦ こひし	⑧ ほのほ
⑨ やうやう	⑩ いみじう	⑪ せうと	⑫ まゐる
⑬ をかし	⑭ ゆめぢ	⑮ いづれ	

歴史的仮名遣い

こ <u>う</u> い	ち <u>やう</u> し	か <u>ん</u> ぱく	き <u>やう</u>
に <u>ゆう</u> どう	あ <u>わ</u> れ	こ <u>い</u> し	ほの <u>お</u>
や <u>う</u> やう	い <u>み</u> じ <u>ゆう</u>	し <u>やう</u> と	ま <u>い</u> る
お <u>か</u> し	ゆ <u>め</u> じ	い <u>ず</u> れ	

2 品詞

(1) 次の説明に該当する用語を、それぞれ書きなさい。(各1点×2)

① 単独で文節を作ることができる語。

自立語

② 自立語や助動詞に付いて、文節の一部として用いられる語。

付属語

(2) 次の品詞に対応する働きを、それぞれあとの選択肢から選びなさい。(各1点×10)

① 名詞

イ

② 動詞

キ

③ 形容詞

エ

④ 形容動詞

ウ

⑤ 副詞

コ

⑥ 連体詞

カ

⑦ 接続詞

ク

⑧ 感動詞

ア

⑨ 助動詞

ケ

⑩ 助詞

オ

ア 感動・呼びかけ・応答・掛け声などをあらわす語。
イ 事物(人物・場所・物質など)の名前をあらわす語。
ウ 事物の性質・状態をあらわす語。「くたり」「くなり」で終わる。
エ 事物の性質・状態をあらわす語。「し」で終わる。
オ 自立語(や助動詞)に付いて、意味を添えたり、ことばの働きをあらわしたりする語。
カ 体言を修飾する語。
キ 動作・存在をあらわす語。
ク 文と文をつなぐ語。前後の文脈の関係をあらわす語。
ケ 用言や体言などに付いて、意味を加える。
コ 用言を修飾する語。

(3) 「名詞」を別の呼び方で何というか答えなさい。(2点)

〔体言〕

(4) 「動詞・形容詞・形容動詞」を別の呼び方で何というか答えなさい。(2点)

〔用言〕

(5) 「活用する」とはどういうことか説明しなさい。(3点)

〔すぐに後に別の語が付くことによって、語が形を変えること〕

(6) 活用する品詞を4つ答えなさい。(各1点×4)

〔動詞〕〔形容詞〕〔形容動詞〕〔助動詞〕

(7) 古文の「活用形」を6つ全て答えなさい。また、それぞれの活用形に該当する説明文を、後の選択肢から選びなさい。(各1点×12)

① 未然形 イ ② 連用形 カ ③ 終止形 ウ

④ 連体形 オ ⑤ 已然形 エ ⑥ 命令形 ア

ア 命令して言い切る形
イ まだそうならない形
ウ 言い切りの形
エ すでにそうになっている形
オ 主に体言に連なる語
カ 主に用言に連なる語

- (8) 次の文章の空欄を埋めなさい。(2点)

活用形を考えるときは、

〔接続〕を見よう。
(次・下に続く言葉なども可)

3 係り結びの法則

- (1) 「係り結びの法則」とは、どのような法則であるかを答えなさい。(3点)

〔文中に係助詞があることで、文末が終止形ではなくなる法則〕

- (2) 係り結びの法則が発生する「係助詞」を、5つ全て答えなさい。また、それぞれの係助詞の結びの活用形と意味を
あとの選択肢から選びなさい(同じ記号は何度使ってもよい)。(各1点×15)

〔ぞ〕 (A)(イ) (なむ) (A)(イ) (や) (A)(ア)
〔か〕 (A)(ア) (こそ) (B)(イ)

結びの活用形		意味	
A	連体形	ア	疑問・反語
B	已然形	イ	強意

4 動詞・形容詞・形容動詞

- (1) 上一段活用・下一段活用・カ行変格活用・サ行変格活用・ナ行変格活用・ラ行変格活用に所属する語句をそれぞれ答えなさい。

(各1点×21)

- ① 上一段活用(9語)

干る・射る・鑄る・着る・似る・煮る・見る・居る・率る

- ② 下一段活用(1語)

蹴る

- ③ カ行変格活用(2種)

来・「来」の複合語(来)

- ④ サ行変格活用(3種)

す・おはす・「す」の複合語(ものす)

- ⑤ ナ行変格活用

死ぬ・往ぬ(去ぬ)

- ⑥ ラ行変格活用

あり・居り・侍り・いまそかり

- (2) 四段活用・上一段活用・下一段活用の判別の仕方を説明しなさい。(4点)

活用の種類を判別する語句に、「ず(ない)」を付けて見分ける。「ず(ない)」を付けた時、「ず(ない)」の上の音がそれぞれア段の音であれば四段活用、イ段の音であれば上一段活用、そしてエ段の音であれば下一段活用と判別する。

(3) 次の活用表を完成させなさい。(各活用の種類完答で)2点×9)

活用の種類	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
四段活用	a	i	u	u	e	e
上一段活用	i	i	いる	いる	いれ	いよ
下一段活用	け	け	ける	ける	けれ	けよ
上二段活用	i	i	u	u	うれ	いよ
下二段活用	e	e	u	u	うれ	eよ
カ行変格活用	こ	き	く	くる	くれ	こ(よ)
サ行変格活用	せ		す	する	すれ	せよ
ナ行変格活用	な	に	ぬ	ぬる	ぬれ	ね
ラ行変格活用	ら	り	り	る	れ	れ

(4) 「語幹」とは何か説明しなさい。(3点)

活用する語句が活用した際に、変化しない部分を語幹という。
(二方、活用に応じて変化する部分を活用語尾という。)

(5) 次の語句の「活用の行」と「活用の種類」をそれぞれ答えなさい。(各2点×10)

① 射る・鑄る

ヤ行上一段活用

② 居る・率る

ワ行上一段活用

③ 得・「得」の複合語

ア行下二段活用

④ 植う・飢う・据う

ワ行下二段活用

⑤老ゆ・悔ゆ・報ゆ

ヤ行 上二段 活用

(6) 活用の種類が「四段」と「下二段」の2種類ある動詞の「訳し方の違い」を説明しなさい。(3点)

四段はそのまま訳し、下二段は四段の意味に使役の意味を加えて訳す

(7) 形容詞の特徴を説明した次の文章の空欄を埋めなさい。(1点)

形容詞は物事の性質や状態を表し、終止形が〔 〕となる。

(8) 形容詞の活用の種類を2つ書きなさい。また、それぞれの活用の種類に対応する活用表を完成させなさい。(各1+2点(6点))

活用の種類	基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
ク活用	白し	白	く	く	し	き	けれ	○
シク活用	をかし	をか	しから	しかり	○	しき	しけれ	○

(9) 形容詞の活用の種類の見分け方を説明しなさい。(3点)

判別する形容詞に「なる」を付けて見分ける。「なる」を付けたとき、「くくなる」となればク活用と判別し、「ししくなる」となればシク活用と判断する。

(10) 形容詞の接続について説明した次の文章の空欄を埋めなさい。(1点)

補助活用(「か＋ラ変」)の下には、〔 助動詞 〕が付く。

(11) 形容詞の用法に関して、次の問いに答えなさい。(各1点×2)

① 「A(を)Bみ」の訳し方を答えなさい。

AがBなので

② 「ああ、。」と訳す形容詞の用法のパターンについて次の空欄を埋めなさい。

あな、

語幹

。

(12) 次の形容詞のうち、ク活用はA、シク活用はBと答えなさい。(各1点×9)

① あさまし

B

②

いみじ

④ かしこし

A

⑤

かなし

⑦ めでたし

A

⑧

やさし

B

③

ありがたし

B

⑥

はしたなし

B

⑨

をこがまし

A

A

B

(13) 「けり」は連用形に接続する助動詞である。正しく活用しているのはどちらか、番号を答えよ。(1点)

① うれしかりけり。

② うれしくけり。

①

(14) 次の文章を訳しなさい。(各1点×4)

① 人を多み

人が多いので

②

あな暗、

ああ暗いなあ

③ 夜を寒み

夜が寒いので

④

山高み

山が高いので

(15) 形容動詞の特徴を説明した次の文章の空欄を埋めなさい。(各1点×2)

形容動詞は物事の性質や状態を表し、終止形が〔 くなり 〕、〔 くなり 〕となる。

(16) 形容詞の活用の種類を2つ書きなさい。また、それぞれの活用の種類に対応する活用表を完成させなさい。(各1点+2点(6点))

活用の種類	基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
ナリ活用	静かなり	静か	なら	なり	なり	なる	なれ	なれ
タリ活用	堂々たり	堂々	たら	たり	たり	たる	たれ	たれ

(17) 「音便」とは何か説明しなさい。(3点)

発音しやすいように、別の音に変化する現象

(18) 音便の4つの種類を答えなさい。また、それぞれの音便がどのような音に変化するか空欄に書きなさい。(各1点×8)

- ①〔イ〕音便 ― 咲きて ↓ 咲〔い〕て
- ②〔ウ〕音便 ― 問ひて ↓ 問〔う〕て
- ③〔撥〕音便 ― 呼びて ↓ 呼〔ん〕で
- ④〔促〕音便 ― 待ちて ↓ 待〔つ〕て

(19) ラ行変格活用連体形活用語尾「る」に推定の助動詞(「なり」「めり」など)が接続した場合の音便変化について、次の空欄を埋めなさい。
(上から順に)1点+2点

あるなり ↓ あ〔ん〕なり ↓ 〔 くなり 〕